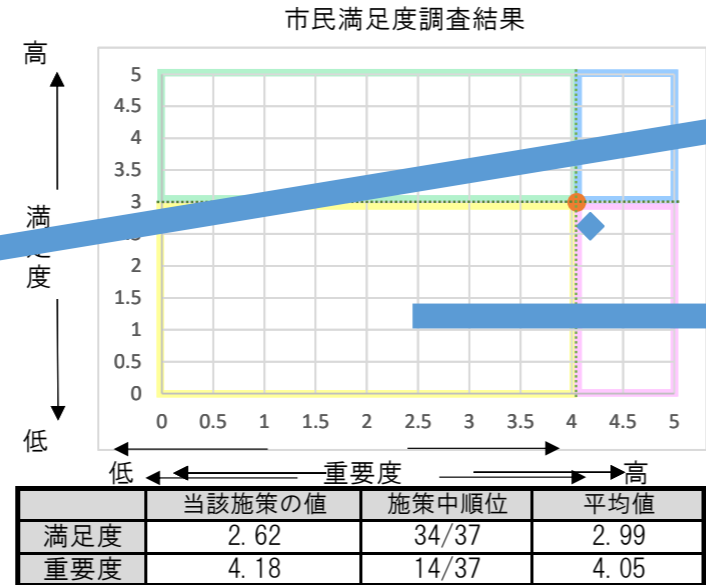


令和 4 年度 施策評価表

1. <施策の概要>

基本目標	【1】産業の振興と雇用を創出し定住できるまち
政策	11賑わいと活力を創出する地域産業づくり
施策項目	1商業・サービス業
10年後の姿	商業・サービス業が進行するとともに、農や観光と連携した物販・飲食などの新たな商業・サービス業が展開されています。また、商業の活性化によりまちの賑わいを取り戻しており、暮らしやすい自立したまちづくりに近づいています。
評価者	経済推進部長
関係課	シティセールス推進課



施策評価表の見方

1. 施策の概要

第2次橋本市長期総合計画における施策の位置づけを記載しています。また、10時年後のめざす姿を記載しています。

●市民満足度調査結果の見方

市民アンケート結果の各施策の満足度、重要度の平均値を中心とし、エリア分けをしています。各施策の位置するエリアにより施策の傾向を表しています。

満足度高 重要度低 【水準維持・見直し】	満足度高 重要度高 【水準維持】
満足度低 重要度低 【改善・見直し】	満足度低 重要度高 【拡充・改善】

2. <施策の現状分析>

施策の概況	現状と課題	社会環境や国・県の動向など施策を取り巻く状況
	新型コロナウイルス感染症にかかる緊急事態宣言等が全国に発出されたことで、令和2年4月～6月を中心に市内商工業者の売上は減少した。本市では新型コロナウイルス感染症に対する感染予防を含めた経済対策として2度に渡りクーポン券を発行し、市内消費の喚起に努めた。また市内事業者に対しては消毒液やマスク、パーテーションなどの購入のために衛生環境関連消耗品整備奨励金として補助を行う一方、売上回復のために需要回復助成金により支援も行った。しかし新型コロナウイルスの感染症の感染の波が繰り返し起こるなど、特に飲食店などを中心とした店舗では継続した売上の回復には至っていない。	新型コロナウイルス感染症の影響により、実質GDP成長率は令和2(2020)年4～6月期に-8.1%と大幅なマイナス成長になり、リーマンショック時のマイナス幅を超えました。こうした危機的な経済状況の中、国はポストコロナの持続的な成長につなげる投資を加速するため、グリーン化、デジタル化、地方の所得向上、子ども・子育て支援を実現する投資を重点的に促進する方針を、「経済財政運営と改革の基本方針2021(骨太の方針2021)」で打ち出しました。県は国・県等が実施する産業施策を一発検索できるウェブサイト「わかやま企業応援ナビ」を平成29(2017)年12月にオープンしました。新型コロナウイルス感染症に関する事業者向け支援情報をはじめ約270種類の施策(令和3年度)を掲載し、創業気運の醸成や人脈形成、資金調達など官民一体となった「オールわかやま」体制の構築を目指しています。

2. 施策の現状分析

社会環境や国・県の動向と橋本市での現状と課題を記載しています。

3. <市民・団体・事業者などの取組みの方向>

No.	役割分担	進捗状況・取り組み内容	今後の方針
1	日常生活の買い物は地元商店での購入に努めます。	市内登録店舗で利用できるクーポン券の発行により、市内事業者での消費の促進をはかるが、新型コロナウイルスにより多くの業種において経営状況が悪化。	国からの経済対策のための補助金等を活用し、地元店舗での消費に直に繋がる経済対策を市内事業者の意見を聞きながら進める。
2	事業者は、市民ニーズや高齢化に対応したサービスの提供および情報発信に取り組みます。		
3	事業者が連携し、各店舗それぞれの特徴や強みをいかした魅力的なサービスの提供に取り組みます。		
4			
5			

3. 市民・団体・事業者などの取組みの方向(協働の取組状況)

総合計画では、各施策を進めるうえでの、市民・団体・事業者などの取組の方向性を示しています。ここでは、現在の協働の進捗状況・取り組み内容、今後の方向について記載しています。

4-1. <目標の設定>

目標名	単位	年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	指標評価
1 年間商品販売額	億円	目標	772	772	772	772	772			A
		実績	796							
2 「商工業」施策の市民満足度	%	目標	28	29	30	31	32			D
		実績			11					
3		目標								
		実績								
4		目標								
		実績								
5		目標								
		実績								
6		目標								
		実績								

4-1. 目標の設定

各施策の進捗状況を見るため、各目標値に対する達成状況を示しています。

▼評価基準

- A : 進捗率100%以上
- B : 進捗率50%以上
- C : 数値が上昇しているが進捗率が50%未満
- D : 数値が下降しており、達成に遅れがある
- E : 数値が大幅に加工している 20%以上の下降

4-2. <指標から読み取れる成果と課題>

新型コロナ以前は年間商品販売数は伸びをみせていたが、今後公表される経済センサスでは年間商品販売額の減少が考えられる。商工業施策の満足度は、市内商店街などの活性化の課題と新型コロナウイルスによる経済の縮小もあり営業状態は厳しいため引き続き低い傾向になると思われる。

4-2. 指標から読み取れる成果と課題

各目標指標からみる成果と課題を記載しています。

5. <施策を構成する事業の成果と課題（施策の展開）>

No.	施策の展開	魅力あふれる店舗、商業・サービス業の充実	
①	成果	創業希望者に対しては商工会議所、商工団体と連携した支援により地場産品の販売や地元の食材を活用したメニューの作成など地域に密着した店舗づくりを行った。	課題 安定した経営を続けるためには販路や労務等について学ぶ必要があるが、現在市独自でセミナーを実施できていないため十分な知識を持たず開業してしまう場合がある。
	今後の方針	特定創業事業計画に沿った型でのセミナーを実施することにより、安定した経営を続けることができる優良な事業者を発掘する。特に駅前地区などでの創業希望者や雇用の創出につながる創業に対して支援を強化する。	

5. 施策を構成する事業の成果と課題（施策の展開）

各施策の展開の成果と課題、今後の方針を記載しています。

☞ 今後の方針：

施策目標達成に向けた次年度以降での具体的な取り組み方針を記入しています。

No.	施策の展開	商業環境の充実	
②	成果	大規模小売店舗の進出にあたっては関係各課と情報を共有することで周辺住民の生活環境を配慮するよう事業者に要請することができている。紀ノ光台での移住創業の補助金を活用した新規創業の店舗が数件開業しており、市内外を問わず広い地域からの来客に繋がっている。	課題 新規創業が増加しているものの、キッチンカーやWEBを活用した創業が増加しており空き家や空き店舗を活用した創業が減少している。今後は和歌山県の地域課題解決型の補助金を活用した空き家や空き店舗を活用した創業の推進が課題。
	今後の方針	橋本駅前など空き店舗が増加している場所での創業に対して商工団体と協力した支援を強化する。	

No.	施策の展開	商業・サービス業充実のための各種制度の充実	
③	成果	コロナ禍において衛生環境関連消耗品整備奨励金と需要回復助成金により支援を行ったことで一定の支出減の効果があつた。これらの情報提供にあたっては広報、ホームページだけでなく商工団体のDM、SNS、クーポン券参加団体への個別通知など繰り返し行い各種制度の情報が漏れなくいきわたった。	課題 コロナの流行の波が断続的にきており、一旦落ち着き売上が回復の兆しを見せても、長続きしないため継続的な支援が求められている。その中で国、県、市と類似の補助制度があることから、事業者によっては複雑化しており申請する機会をのがす場合もある。
	今後の方針	今後国からの支援金の給付状況をみながら市として補助制度などの検討を行う。情報提供にあたっては市からの支援はもちろん国や県の支援制度についても積極的な発信を行う。	

6. 施策全体の方針

現状や課題、指標の達成状況等を総合的に勘案し5段階評価し、今後の取り組み方針を記載しています。

▼ 評価基準

- A：想定上の効果があり進捗は良好である。
- B：想定どおりの効果があり、進捗は順調
- C：一定の効果があるが、一部で進捗に遅れがある
- D：効果は限られ進捗に遅れがある
- E：効果が表れていない、取り組みができていない。

6. <施策全体の方針>

総合評価	施策全体の方針
C	少子高齢化が進み事業主の高齢化も進んでいるなか新規創業や事業承継支援に継続的に取り組んでいきたい。また、デジタル化等の新たな事業経営の波にも対応していけるよう支援に取り組んでいく。